

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

# 鳥取県革新懇ニュース

No.50  
2016年  
6月10日

〒680-0811 鳥取県鳥取市西品治806(鳥取県労連気付)  
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

## 結成・キックオフ集会を開催

### 安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める県民連合とつと

「県民連合とつと」(「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める県民連合とつと」の略称)が6月4日結成され、とりぎん文化会館第一会議室でキックオフ集会が開かれました。

國歳眞臣共同代表が自らの戦時体験に触れながら「安保法制を廃止し戦争を二度とさせない」と結成を宣言。高橋敬幸弁護士が結成に至る経過の報告と「申し合わせ」事項、活動方針などを発表、「島根大学の会」の三宅孝之・法科大学院

教授から祝福と激励の言葉が寄せられたのに続いて、野党4党代表(民進党・木村和久、共産党・大平喜信、衆議院議員、社民党・米村正一、県連幹事長、新社会党・中宇地、県本部書記長)が参院選勝利に向け連帯のあいさつを述べました。

鳥取・島根合区から野党の統一候補として立候補する福島浩彦氏に、吉田幹男共同代表(地域デザイン研究所長)から推薦状を渡し、福島氏が「立憲主義を回復し、平和国家として歩む日本をみなさん

と実現したい」と力強く決意表明。同氏と各党、國歳・吉田両代表が手を結んで高く掲げ、全員で結束と奮闘を誓いました。

この後、「安保法制廃止」「野党は共闘」と書いた赤・青のメッセージボードを一齐に掲げて場内撮影し、司会者梶川智子さん(「ママの会」)のリードで「上を向いて歩こう」の替え歌「この法律違憲じゃない? 反対な態度でしめそうよほら、みんなで選挙行こう」など声を揃えて歌い、大きな拍手に包まれました。最後に、共同司会の谷口麻有子共同代表が「私は法律家だが、政治を変える力は政治にしかない。政治家を選ぶのは私たち市民。平和を愛する候補者を選ぼう」と訴えかけました。



声援に応える(右から)米村、大平、吉田、福島、國歳、木村、中宇地の各氏

20日の『市民連合』結成です。

それより先の14年12月、従来別々に改憲反対運動を行ってきた「戦争をさせない1000人委員会」(「平和フォーラム」)が中心。真山真劫代表が「解釈で憲法9条を壊すな! 実行委員会」(憲法会議など。高田健代表)、「戦争する国づくりストップ! 憲法を守り、いかす共同センター」(全労連、新婦人、革新懇など。小田川義和代表)の3団体が結成して「戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会」を組織して、横浜で初の5月3日統一憲法集会を成功させ、以後も大規模な集会を継続開催しています。

『市民連合』は、戦争法成立後なかなか野党共闘が進まない状況を重視できないと、「総がかり行動」加盟団体の中の個人有志、(1)「総がかり」真山・高田・小田川、(2)SEALS、(3)立憲デモクラシーの会、(4)学者の会、(5)ママの会が「呼びかけ5団体有志運営委員会」を構成。11月「くまもとネット」を皮切りに様々な名称の「市民連合」(島根は「総がかり行動実行委員会」)が誕生して

参院選32小選挙区で野党統一候補の実現に尽力し、当事者として協定を結んだ候補者も15人になりました。

「県民連合とつと」は、この『市民連合』と理念、方針を同じくし、①2000万人署名を進めることを中心に、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるための諸活動、②県内で結成されている(今後結成される)住民団体や市民連合と連携する、③衆院選も視野に入れて野党共闘を促すとともに、7月の参院選で野党統一候補を支援、④鳥取地裁への違憲訴訟提起を準備・検討する、などの活動を行います。

運営組織も『市民連合』に準じて、國歳、吉田、谷口、中崎雄一(弁護士)の共同代表4氏と、岩井和由(立憲デモクラシーの会)・梶川智子、古久保遼(青年学生組織「アクト山陰」)、弁護士らで構成し、事務局を米子市の高橋法律事務所におきます。

会では早速2000万人署名と、会への賛同者の登録を進めます。(県革新懇代表世話人 浜田章作)

鳥取県弁護士会主催 憲法シンポジウム  
「立憲主義の危機」において私たちがなすべきことは何か

第1部 憲法シンポジウム  
①基調講演 「安保法制で私たちの生活はどう変わるか」  
講師 藤田安一さん  
鳥取大学地域学部地域政策学教授

②弁護士会基調報告:日本弁護士連合会の動きについて  
弁護士によるQ&A:「安保法制はどのような法律?」「安保法制はどのような場面で発動されるの?」など、よくある質問について弁護士がお答えします。

第2部 屋外市民集会、屋外パレード  
「県民のみならず、今一度立ち上がりましょう! 安保法は違憲です!!」

日程・開催場所 2016年6月18日(土曜日)  
第1部 とりぎん文化会館小ホール  
開場 9時30分  
開始 10時~午後0時30分  
第2部 〇屋外市民集会 久松公園  
午後1時30分~午後2時30分(雨降時)  
〇屋外パレード とりぎん文化会館~鳥取駅  
午後2時45分~4時15分(雨降時)

主催 鳥取県弁護士会 共催 中国地方弁護士会連合会 共催(予定) 日本弁護士連合会  
問い合わせ先 鳥取県弁護士会 鳥取市東町2-221 TEL.0857-22-3912

憲法シンポジウム  
市民集会・パレード  
6月18日(土曜日)

憲法シンポ:とりぎん文化会館  
10時~12時30分  
集会:久松公園  
13時30分~14時30分  
パレード:とりぎん文化会館前→鳥取駅  
14時45分~16時15分  
昨年8月2日の集会・パレードを上回る規模で成功させましょう。  
参加費無料、事前申込不要

主催:鳥取県弁護士会  
共催:中国地方弁護士会連合会  
日本弁護士連合会(予定)



一齐にメッセージボードを掲げる参加者

5月21日、東京都内の学士会館において、47都道府県、237人の参加の下、全国革新懇第36回総会が開催されました。

初めに、笠井代表世話人より、「革新懇は戦争法廃止のたかひの共同の要の役割を發揮した。革新懇運動は、国政の中心的な課題を共通目標に掲げ、国政選挙での全国的な政党間共闘を進める新しい段階を迎えている。参院選で必ず勝利を。」との報告と提案がありました。続いて、全労連議長から、戦争法の闘いと共同の広がりについて、志位共産党委員

長から、野党共闘、参院選を巡る情勢について、北海道革新懇から、北海道5区補選の取り組みについて、熊本県革新懇からは、熊本地震、参院選統一候補の取り組みについて等、4つの特別発言がありました。

午後の部では、各地や各団体の活発な発言が相次ぎました。例えば、京都府の青年革新懇からは、「戦争法案反対のたたかいを通して、政治は変わらな

は、予想を遙かに上回る1400人が集まった。政治と生活をつなげることに繋がっていることを確信した。との発言がありました。

また、自治労連革新懇からは、「国民保護法の発動で自治体が警察や自衛隊の管理下に置かれる。今は、協力・努力義務になっていて、自治体が有事体制に組み込まれることになる。また、自治体の中立」の名の下に、住民の行う催しや講演に対し、拒否や介入を行う状況が生まれつつある。既に、組合の掲示板に、戦争法関連のチラシの掲示を止めさせるとい

私にとって、全国革新懇総会の参加は初めてのでしたが、各地・各界の活発な取り組み報告や発言を聞く良い機会となりました。

最後に、沖繩革新懇の宮城事務局長から、元海兵隊員による女性殺害事件について「米軍による殺人行為は約100件、レイプ事件は574件発生している。再発防止は基地をなくすこと以外にない。すべての米軍基地の閉鎖・撤去がオール沖縄の声だ。」との訴えがあり、総会は「沖



せるといふ事態が起こっている。」との緊迫した発言が、さらに、日本民主主義文学会から、「国民の自由が国家に巧みに誘導されるという近未来小説があるが、今、それが現実になるうとしてい

鳥取県東部の地域の九条の会です。とつとつ九条の会とは風船実行委員会」は5月3日、鳥取市で「平和の鳥フェスティバル」を開催しました。

当日はあいの空模様のため、急遽会場を鳥取市福祉文化会館に移動しての開催になりましたが、子ども

### 平和の鳥フェスティバルinとつとつ

も連れの家族ら約130人が参加。平和のメッセージカードを付けた数百個の風船を大空に放ちました。

集会には弁護士、宇都宮健児さん、エッセイストの海老名香葉子さん、俳優の日色ともゑさんなど、各会からメッセ



## 各地・各界の運動を交流 全国革新懇第36回総会



### 戦争法廃止、労働法制改悪反対 第87回メーデーで共同広げて

メーデー鳥取県実行委員会は5月1日、JR鳥取駅前風紋広場で第87回メーデー鳥取県集会を開催し、500名が参加しました。

集会では主催者を代表して田中暁実行委員長（県労連議長）が、衆議院北海道5区補欠選挙のたたかいにふれながら、「参院選挙での野党共闘で、戦争法廃止と立憲主義・民主主義の回復の世論を大いに高め、安倍内閣の暴走と

独裁的政治をやめさせよう」と訴えました。参議院鳥取・島根選挙区の野党統一候補、福島浩彦氏からメッセ

職場からの発言では、鳥取生協病院のケースワーカーが、貧困による受診抑制で手遅れ死亡に至った事例について報告。憲法25条に謳われている生存権が「自助」「共助」のかけ声のもとに個人や家族の責任に転嫁されてしまう政治の実態を生々しく告発し、社会保障の拡充を求める運動を大きく広げようと訴えました。

集会後、参加者は「最低賃金を引き上げる」「戦争法は廃止せよ」などと唱和しながら、若桜街道を敬愛高校前までデモ行進しました。

西部地区実行委員会も同日、米子市文化ホール前で集会を開催。150名が参加しました。



### 安保法制(戦争法)廃止 200万統一署名は6月30日まで

統一署名は全国で1200万を超え、6月30日まで引き続き取り組まれます。『安保法制を廃止し、立憲主義を取り戻す境港市民の会』が発行しているニュースから、その取り組みを抜粋し、掲載しました。

会に寄せられた署名は4,231名(4月27日現在)です。全国では1200万名を超えたようです。(以下略)

#### 私はこうして集めています

- ▼店のレジの横においてお客さんをお願いしています。
- ▼自分で「署名行動の日」を決め、その日は必ず1名以上を目標にし、当りが外れたら、通りすがりの人にも声をかけてやってもらっています。
- ▼みんなの活動を聞いて、私も初めて住んでいる町内を回ってお願いしました。
- ▼地域を歩いています。「安倍さんは独裁政治のようで怖い」「声を上げるのはいいこと」「子どもや孫のためにも平和が一番」などの声が聞かれ、元気をもらっています。

### TPP批准阻止へ 内田聖子さんを迎えフォーラム

県革新懇は、国会論戦が始まる直前の3月27日、北栄町で「TPPでどうなる! 私たちの暮らし・地域・産業」と題してフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、TPPの第一人者である内田聖子さんの講演と、県内の畜産、医療、酪農、消費者の発言が

TPPの及ぼす危険な実態を明らかにしました。

国会決議に反し、交渉経過も明らかにされないTPPの国会批准を決して許してはいけな

運動の方向を確認する場になりました。

(県革新懇代表世話人 山内淳子)

